

No.01

自主防災活動支援事業

地域の安全・安心

牧区防災士会

事業概要

自主防災活動が停滞している町内会等を対象に出前研修会や訓練を行い、これらの活動を通して災害に対する知識や技術の習得、地域の防災力の向上と防災意識の高揚を図った。併せて、自主防災の必要性や重要性を認識する場となった。

事業評価・今後の活動の見通し

出前研修会や訓練を通して、災害に対する知識や技術の習得を図ることができた。今後も購入した資材、機材の貸し出しを行うことで有効活用に努めるとともに、防災訓練において牧区防災士会の会員を派遣し訓練をサポートすることで更なる防災力の向上と防災意識の高揚を図りたい。



事業費 420,000 円

補助金額 420,000 円

No.02

屋号を活かし、地域を活性化させる事業

まちづくりの推進

屋号を残す会

事業概要

高齢化が進む地区の「屋号」を調査し、表札を作成することで、日本人が誇るべき文化を後世に伝えるとともに、集落全体での活動を通じ、牧区に定住しようとする人材の育成と生活環境の維持向上、地域活性化を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

昨年度目標としていた未実施の4町内会の希望者及び個人的に追加で希望する人を含め、牧区全域で完了することができた。また、屋号を形として残したり、いわれを調べることで、地域間のコミュニケーションの機会を増やし、集落づくりの意識を高めることにつなげることができた。



事業費 266,500 円

補助金額 246,000 円

No.03

地域づくり活性化事業

まちづくりの推進

NPO法人 牧振興会

事業概要

牧区の子もたちと区外の子もたちとの交流の場を提供することや、区外の人々に牧区の魅力を発信することを目的に、合計3回の子も参加型イベント「わんぱく村」を開催した。

事業評価・今後の活動の見通し

新型コロナウイルス影響下での開催となったが、予定通り3回の子も参加型イベントを実施した。来年度は、参加者の年齢にあったプログラム構成を踏まえて活動したり、今年度と全く同じ内容ではなく新しいプログラムも取り入れることで牧区にあった、牧区らしい活動内容の模索に努めたい。



事業費 604,336 円

補助金額 578,000 円

No.04**川上 山里の風事業**

まちづくりの推進

川上地区協議会

事業概要

各種イベントを通して、地域住民が安らぎや誇りを感じ絆を深めることを目的に、国登録有形文化財「川上会館」を整備し、継続的にイベント等が開催できるよう管理を行った。併せて、山間地や木造会館の魅力を地区内外へ発信した。

**事業評価・今後の活動の見通し**

新型コロナウイルス感染拡大防止のためコンサートは中止となったが、事業実施に向けて入念な準備を行うことができた。また、事前準備として実施した椅子の購入、川上会館の床修繕等の備品を活かし、感染の諸情勢を踏まえながら今後も継続して取り組んでいきたい。

事業費 818,480 円

補助金額 818,000 円

No.05**沖見地区観光拠点づくり事業**

観光振興

レストハウス「けやき」周辺整備の会

事業概要

レストハウス「けやき」前の荒廃地を沖見地区の観光拠点とすることを目的に、紫陽花及びヤマブキを植栽し、美しい観光スポットとして整備を行った。

**事業評価・今後の活動の見通し**

今後も畑の整備及び紫陽花、ヤマブキの植栽を行い、景観の更なる向上に努めたい。また、新たにどのような種類の花を増やしたら良いのかも検討し、花畑を活用した四季折々のイベントを企画したり、SNS等インターネットを活用したPRを図りたい。

事業費 268,296 円

補助金額 260,000 円

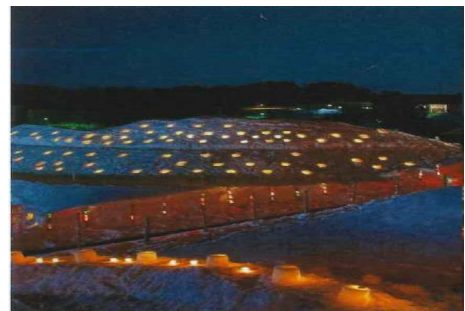
No.06**地域の活性化促進事業**

まちづくりの推進

牧区地区協議会連絡会議

事業概要

地域の活性化と発展持続性、地域外への情報発信を目的に、「まき深山のともしび」を開催した。また、重機等をレンタルし、冬間におけるイベントの支援を行った。

**事業評価・今後の活動の見通し**

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模の縮小や予防対策下での開催となったが、アイデアを出し合い、雪国の一夜限りの冬のイベントを演出できた。今後も牧区「深山のともしび」の個性をどのように発信していくか考えながら、全体の動きとともに継続して実施していきたい。

事業費 993,944 円

補助金額 993,000 円

No.07**泉 棚田ほたる事業**

まちづくりの推進

泉町内会

事業概要

各種イベントを通して、地域住民が誇りや喜びを感じ絆を深めることを目的に、棚田にモニュメント(棚田の鐘)やLEDライトを設置して整備を行い、継続的にイベント等が開催できるよう管理を行った。山村の魅力を区内外へ発信し、交流人口の創出を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

集落が気持ち一つにして取り組むことができ、来場者から高い評価を得ることで、活力が湧き連帯感が強まった。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広報は牧区内のみに周知を行ったの開催だったが、来場者のSNSへの投稿等により、更なる集客やボランティアの参加につながり、新たな交流を生み出した。さらに、集落出身の若者の参加も多くみられた。今後もこれらの行事を通して、若者が山間地域への関心を育むことにつなげていきたい。

**事業費**

965,659 円

補助金額

836,000 円

No.08**上牧番所、塩の道、古代詞の保存と観光地域交流整備事業**

文化・スポーツの振興

上牧町内会

事業概要

現地にて安全に歴史等が学べるようにすること及び地域交流、元気なまちづくりを推進するため、環境の整備を行った。本事業を活用し復元した「口留番所」は、小学校の勉強会開催や観光客で来場者が増加した。

事業評価・今後の活動の見通し

整備に力を入れることで、塩の道や深山清水の環境が整えられた。また、作業を通してボランティアの方と多くの交流が生まれ、大勢で作業をすることで活動がスムーズに行えるようになった。これからも、古代詞を通して子どもたちや多くの人々と交流を深めていきたい。

**事業費**

409,500 円

補助金額

409,000 円